

令和4年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」根城中学校区実践計画書

事務局 八戸市立根城中学校 (担当 教頭：鈴木 悟)

1 主題 (3年次)

『夢をもち、生き生きと学ぶ児童・生徒の育成』

～課題設定の工夫と振り返りを通して～

2 主題設定の理由

現在の子どもたちを取り巻く問題の解決や、教育活動のさまざまな課題の克服については、小中連携教育(ジョイントスクール事業)の充実が重要な取組であると言える。

子どもたちに「生きる力」を育むためには、小学校と中学校という単位で捉えるのではなく、義務教育9年間を見通した、子どもたちの発達段階に応じたきめ細かな、系統性と継続性のある学習指導と生徒指導、キャリア教育に取り組むことが必要であると考えます。

令和2年度より、「課題設定の工夫と振り返り」を取り入れた授業づくりを通して主体的に学ぶ生徒の育成を目指して取り組んできた。副主題が2年間経過し、一定の成果が見られている。より効果的な取組と成果の継続のため、令和4年度も引き続き同じ副主題で取り組んでいくことにした。

・めざす児童生徒像

「学力向上」と「生徒指導」、「キャリア教育」を軸として、9年間で「学力・気力・体力」を十分身に付け、自らの進路を自らの力で切り拓くことのできる児童・生徒

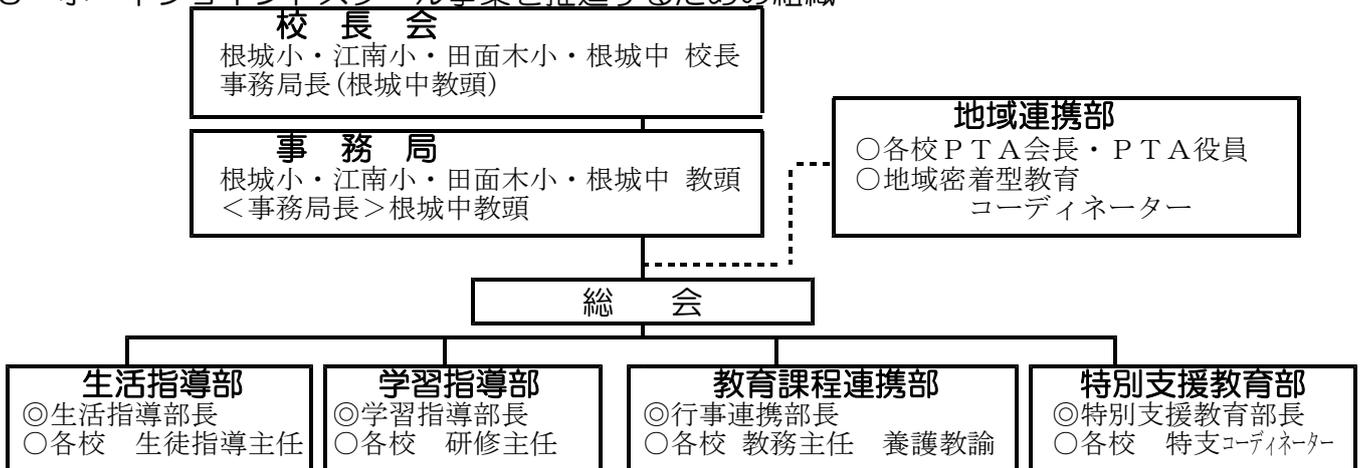
◎小学校卒業までに

- 学習規律や学習の仕方を身に付け、積極的に学習に取り組む児童
- 基本的な生活習慣と規範意識、あいさつ習慣、場に応じた行動ができる児童
- 相手の立場や心情を思いやり、良好な人間関係を築く具体的な行動ができる児童

◎中学校卒業までに

- 学習習慣を獲得しつつ、自ら課題を設定し意欲的に解決しようとする生徒
- 社会で通用する規範意識、責任感、礼儀、マナーを身に付け、円滑な人間関係を築く生徒
- 他者の立場を理解して思いやり、互いの人権を尊重できる生徒

3 小・中ジョイントスクール事業を推進するための組織



校長会 各校の校長(会長：中学校長、副会長：小学校長)、事務局長

※ジョイントスクール事業の方針策定

事務局 各校の教頭(事務局長：中学校教頭)

※各部の連絡調整

地域連携部…PTA地域連携部長、各校PTA会長・役員、コーディネーター

※各校PTAとの連絡調整と情報交換

生活指導部…各校の生徒指導主任・主事、養護教諭(4年度部長：根城小→田面木小→江南小)

※いじめ・不登校・非行などについての情報交換

学習指導部…各教科等についての情報交換や校内研修等を通しての進捗状況の確認・授業公開の案内・運営(4年度部長：江南小→根城小→田面木小)

※各教科等についての情報交換並びに実践発表

教育課程連携部…各校の教務主任(4年度部長：田面木小→江南小→根城小)

※交流事業等の計画立案・実施

特別支援教育部…各校の特別支援コーディネーター(部長：根城中) ※5年度から根城→田面木→江南

※特別な支援を要する児童・生徒の情報交換(指導内容の見直し等)

4 中学校区の重点指導項目

根城中学校区重点指導項目

- 自ら進んで学習ができる。(学習習慣の確立)
- 明るい挨拶ができる。(良好な人間関係の構築)
- 生活のリズムを意識した行動ができる。(基本的生活習慣の確立)